

## 3 年会参加者・講演者・発表者の皆様へ

### 1. 年会参加者

#### (1) 年会

- (a) 年会への参加は、参加登録を済ませた方に限ります。
- (b) 予約参加：年会参加を予約された方には要旨集及び参加証（ネームカード）などを3月上旬に送付いたします。
- (c) 当日参加：年会当日に参加を申し込まれる方は、当日受付（国立京都国際会館、P19 参照）にて参加申込用紙に該当事項を記入のうえ、参加費をお支払いください。参加証、プログラム及び要旨集（CD-ROM）版をお渡しします。なお、冊子体の要旨集を希望される当日申込者には、CD-ROM 版の代わりに冊子体を配布致しますが、数に限りがありますことを予め御了承ください。
- (d) 参加証（ネームカード）：各会場に入場の際は、必要事項を記入した参加証をよく見えるように装着してください。参加証を装着していない方の入場はお断りします。

#### (2) 年会運営についてのごお願い

- (a) 掲示：年会参加者との連絡には、総合受付に設置の掲示板をご利用ください。
- (b) 呼び出し：各会場での呼び出しは行いません。
- (c) 発表の写真撮影：スライド及びポスターの写真・ビデオ撮影については、発表者の許可が無い場合は禁止します。
- (d) 喫煙：会場内は所定の場所以外は禁煙となっておりますのでご協力ください。

#### (3) 懇親会への参加

- (a) 懇親会は3月27日（金）18時30分よりランドプリンスホテル京都にて開催します。
- (b) 懇親会会場に入場の際は、必要事項を記入した懇親会参加証をよく見えるように装着してください。懇親会参加証を装着していない方の入場はお断りします。
- (c) 当日の参加申し込みは、総合受付で16時30分まで承ります。

### 2. 特別講演、受賞講演、シンポジウムの講演

液晶プロジェクターを用いたデジタルプレゼンテーション（併写はできません）のみとなります。講演者の方は、発表データ（CD-R または USB メ

モリー）またはPC本体をご持参のうえ、発表セッション開始30分前までに、国立京都国際会館1階アネックスホール手前のRoom 104「座長・演者・PC受付」までお越しください。その際、「座長・演者・PC受付」にて発表データの確認を必ず行ってください。WindowsXP/Powerpoint 2003 を用意しています。

Powerpoint 2007 あるいは Mac をご使用の方はPC本体をご持参ください。

### 3. 一般学術発表（ポスター）

#### (1) 日程と発表時間

- (a) ポスター発表は、3月26日（木）、27日（金）、28日（土）の3日間、国立京都国際会館5階P会場および別棟1階アネックスホールQ会場（P19参照）で行います。分野ごとの発表日は日程表（P2～9参照）をご覧ください。なお、5階P会場へのエレベータは4機ありますが、混雑が予想されます。階段が3カ所ありますので、健脚の方はご利用ください。
- (b) 午前、午後の張替制となります。

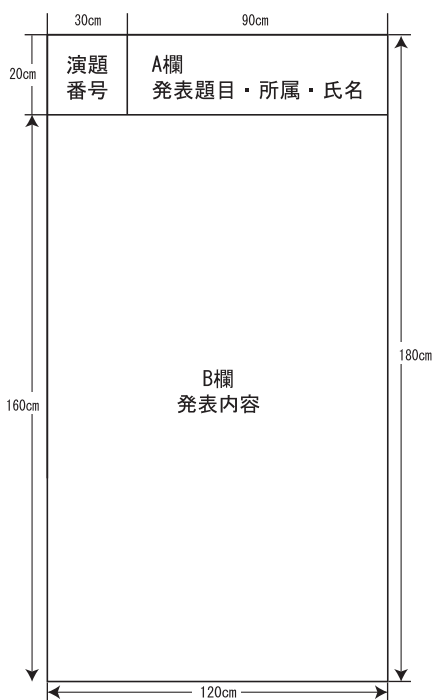
	午前発表者		午後発表者	
貼付時間	9:00～9:30		13:30～14:00	
掲示時間	9:30～12:00		14:00～16:30	
説明時間	奇数番号 演題	偶数番号 演題	奇数番号 演題	偶数番号 演題
	10:00～ 11:00	11:00～ 12:00	14:30～ 15:30	15:30～ 16:30
撤去時間	12:00～12:30		16:30～17:00	

（※撤去時間が過ぎても撤去されないポスターについては、組織委員会にて処分いたします。）

#### (2) 発表の要領

- (a) ポスターボードの大きさはP15に示したとおりです。演題番号は組織委員会が用意し、ポスターボードに表示してあります。演題番号は、PあるいはQのあとに発表番号のハイフン以下3桁の数字のみの記載となります（am、pmは省略されています）。A欄に発表題目、所属、氏名（発表者に○印をつける）、B欄に発表内容を掲示してください。
- (b) 発表者は、ポスター会場で備え付けの押しピンを用いてポスターを掲示してください。また、演者用のリボンを着装してください。

- (c) ポスターは掲示時間が終了後、速やかに撤去してください。また、押しピン及びリボンは備え付けの場所に返却してください。



#### 4. 一般学術発表（口頭）

##### (1) 日程と発表時間

- (a) 本年会では約 850 題の一般学術発表を口頭発表形式により行います。場所は、国立京都国際会館の 8 会場（G～N 会場、P19 参照）と、グランドプリンスホテル京都の 1 会場（Z 会場、P21 参照）で、3月26日（木）から28日（土）まで行います。
- (b) 発表時間 9 分、質疑応答 3 分です。

##### (2) 発表の要領

液晶プロジェクターを用いたデジタルプレゼンテーション（併写はできません）のみとなります。講演者の方は、USB メモリー（または CD-R）に入れたパワーポイントファイルあるいは、PC 本体をご持参のうえ、発表セッション開始 30 分前までに、国立京都国際会館 1F Room 104 の「座長・演者・PC 受付」までお越しください。その際、発表データの確認を必ず行ってください。

発表データの作成など、その他注意事項は日本薬学会第 129 年会ホームページ (<http://nenkai.pharm.or.jp/129/web/>) に掲載されている「発表の要領」に従って準備してください。

なお、トラブル等が発生したときに備えて、予備の発表データ（CD-R または USB メモリー）を必ず持参してください。

#### 5. 発表番号について

- 会頭講演 PL
- 特別講演の例  
SL01：特別講演の 1 番目の演題
- 受賞講演の例  
AL07：受賞講演の 7 番目の演題
- 一般シンポジウムの講演の例  
S14-3：シンポジウム  
No.14 の 3 番目の演題
- スポンサーードシンポジウムの講演の例  
SS1-4：スポンサーードシンポジウム  
No.1 の 4 番目の演題
- 大学院生シンポジウムの講演の例  
GS3-2：シンポジウム  
No.3 の 2 番目の演題
- 一般演題（口頭発表）の例  
28J-am05：28 日に J 会場で行われる  
午前中 5 番目の口頭発表演題
- 一般演題（ポスター発表）の例  
27P-am241：27 日の P 会場午前に掲示される  
パネル番号 241 の演題

#### 6. 発表者の変更等

当日の発表者変更、発表取り消しなどの場合は、遅くとも発表の 1 時間前までに、国立京都国際会館 1 階 Room 104 の「座長・演者・PC 受付」にお申し出ください。発表題目の変更は認められません。

#### 7. 座長の方へ

担当の演題開始 30 分前までに、国立京都国際会館 1 階 Room 104 の「座長・演者・PC 受付」までお越し下さい。

#### 8. 特許申請のための証明について

特許申請のための演題発表証明は日本薬学会が発行します。発表証明が必要な場合は、日本薬学会総務課（下記）にお問い合わせください（詳細は <http://nenkai.pharm.or.jp/nenkai/tokkyo.htm> をご覧ください）。なお、要旨中に特許申請内容が記載されておらず、ポスターにのみその内容が記されている場合には、組織委員会がポスター原稿に発表証明印を押しますので、発表に使用した全てのポスター原稿（またはコピー）を用意して、国立京都国際会館の受付にお申し出ください。口頭発表の場合は、担当の座長が証明書をお渡ししますので、その場でお申し出ください。

---

## 9. 薬剤師研修認定の受講シールの申請

---

### (1) 申請

国立京都国際会館の総合受付に専用デスクを設けます。年會に参加される最初の日に参加証を提示して、入場日の確認証明(押印)を受けてください。認定シールは参加最終日の退場時に、総合受付で入場日確認印のある参加証を提示して受け取ってください。

### (2) 受講単位

3日間の参加: 9単位

2日間の参加: 6単位

1日間の参加: 3単位

2日目に押印を受けた場合には6単位、3日目に押印を受けた場合には3単位しかお渡しできませんのでご注意ください。シンポジストまたは特別講演者にも、ご希望の際は1単位を発行します(一般学術発表者は除く)。但し、薬学市民講演会は発行対象となりません。

---

## 10. ランチョンセミナーの参加受付

---

国立京都国際会館 R 会場イベントホール入口にランチョンセミナー参加申込デスクを設けます。

当日の朝、参加申込デスクに参加証(ネームカード)を提示してください。先着順で会場ごとのランチョンセミナー弁当引換券をお渡しします(1人1日1会場に限ります)。なお、配布開始時間は午前8時30分を予定していますが、詳細は追ってWebにて御案内いたします。

---

## 11. 託児室(予約制)

---

大会期間中、託児室を設けます(無料)。ご利用には事前申込が必要です(当日申込はできません)。希望される方は、2月2日~2月27日に組織委員会の担当者に電話でご連絡下さい(075-753-4601、4530)。折り返し詳細をお知らせいたします。なお、託児室は資格を有する専任の保育士にお願いする予定ですが、組織委員会及び日本薬学会は、託児中の事故について責任を負わないことを申し添えます。